

令和7年3月

1 木材価格

(1) 主要品目別価格

- 素材の価格(中丸太)の前月の比較では、値動きはありません。
- 素材の価格(中丸太)の前年同月の比較では、ヒノキで値を上げ、スギ、アカマツ、カラマツ、米ツガで値を下げています。
- 製材品の価格の前月の比較では、値動きはありません。
- 製材品の価格の前年同月の比較では、カラマツ(板材)、米ツガ(正角)で値を上げ、スギ(正角・乾燥)、ヒノキ(正角・乾燥)で値を下げ、アカマツ(板材)で値動きはありません。

(2) 素材価格

- 前月との比較では、小丸太、中丸太、大丸太、外材では、値動きはありません。エゾマツ・トドマツ、北洋カラマツは入荷がありません。
- 前年同月の比較では、小丸太では、ヒノキ、カラマツで値を下げています。中丸太ではヒノキで値を上げ、スギの一部、アカマツ、カラマツで値を下げています。外材では、米ツガで値を下げています。大丸太では、スギの一部で値を上げ、カラマツで値を下げています。

(3) 製材品価格

- 前月との比較では、正角のスギの一部、正角のヒノキの一部で値を上げ、平割のスギで値を下げています。
- 前年同月の比較では、正角のヒノキの一部、板のスギ、カラマツで値を上げ、正角のスギの一部、正角のヒノキの一部、アカマツ、カラマツ、平割のスギ、平角のマツ、カラマツで値を下げ、正角のヒノキの一部、正角の米ツガ、板のスギ、カラマツで値を上げています。
- 乾燥材は未乾燥材と比べ、
スギ(10.5角、12角)で 14,900～17,000円割高です。
ヒノキ(10.5角、12角)で 14,000～15,200円割高です。

(4) その他

- 木曽国有林材(丸太)は、前月、前年同月でヒノキ、サワラにおいて値動きはありません。
- カラマツ杭丸太は、前月、前年同月で値動きはありません。
- パルプ材は、前月、前年同月で針葉樹、広葉樹において値動きはありません。

2 県内市場における素材入荷量及び販売量(令和7年2月)

- 入荷量は前年同月と比較して、北信、伊那、飯伊で増加し、中信、木曽、南信で減少しています。
- 販売量は前年同月と比較して、中信、伊那、飯伊で増加し、北信、木曽、南信で減少しています。

3 県内新設住宅着工戸数(令和7年2月)

- 前月との比較では、総数で約24%の減、木造住宅で約4%の増です。
- 前年同月との比較では、総数で約13%の減、木造住宅で約8%の減です。

注:統計用の資料であるため、実際の売買価格とは異なります。